

一橋大学佐野書院・レクチャーコンサート

# 渡邊順生／古楽の愉しみ(2019)

わが国を代表するチェンバロ・フォルテピアノ奏者兼指揮者の渡邊順生さんは、一橋大学から生まれた“奇跡”ともいうべきわが国古楽界を代表する音楽家。バッハの名演奏に対し「2010年度サントリー音楽賞」のほか、2016年、2度目の「レコード・アカデミー賞」を受賞。

翌'17年、それを記念した2回にわたるサロン・コンサートをお楽しみいただきましたが、皆さまのアンコールにお応えして、「渡邊順生／古楽の愉しみ」シリーズがスタートいたします。

歴史的名器によるソロ、声楽・器楽との共演、ならびに深い学識に裏付けられたレクチャーをお楽しみ下さい。

## 歌とラウテンクラヴィアの楽しみ

(リュート・チェンバロ)



**Vol.1 4月7日(日)** 午後2時開演 (1時15分開場)

ルネッサンス・バロック歌曲の最高傑作群とラウテンクラヴィアの独奏曲を楽しむプログラム。ラウテンクラヴィア(リュート・チェンバロ)はバッハの愛した楽器で、リュートの音を模した響きを出すために、ガット弦の張られたチェンバロ。その響きの美しさは筆舌に尽くし難い。この楽器は古楽隆盛の今日でも非常に珍しく、日本にはたった2台しかない。

- 曲目
- ジョン・ダウランド (1563～1626)  
歌曲「珍品はいかが、ご婦人方」/「さあ、もういちど、愛が呼んでいる」  
ラウテンクラヴィア独奏「涙のパヴァーヌ」
  - クラウディオ・モンテヴェルディ (1567～1643)  
歌曲「この世から消えてしまいたい」/「主をほめたたえよ」
  - ヨハン・セバスティアン・バッハ (1685～1750)  
ラウテンクラヴィアのための組曲 小短調 BWV996
  - ヘンリー・パーセル (1659～1695)  
歌曲「ひとときの音楽」/「バラ園の館から」 その他

演奏  
渡邊有希子(ソプラノ) 渡邊順生(ラウテンクラヴィア)  
使用楽器  
ラウテンクラヴィア(キース・ヒル、ミシガン州マンチェスター、2000年)

## バッハ／ゴルトベルク変奏曲

演奏者によるレクチャー付「ゴルトベルク変奏曲を2倍楽しむ方」



**Vol.2 12月15日(日)** 午後2時開演 (1時15分開場)

バッハの鍵盤作品中、最大規模のもの。フーガやカノン、組曲やトッカータ、ソナタ、協奏曲等、彼が取り組んできたあらゆる技法の総決算を試みた作品。この長大かつ多彩な曲を楽しむための、演奏者によるレクチャーもお楽しみに。

使用楽器  
マルティン・スコヴロネック作ジャーマン・モデル(ブレーメン、1999年)

会場 一橋大学佐野書院

JR国立駅南口徒歩10分  
会場は裏面の略図参照

チケット [全席自由]

1回券 各3,000円(各40枚)  
2公演セット券 5,000円(50セット)

### ●チケットのお申込み●

I. 公式ホームページからのお申込み <http://www.josuikai.net/circle/josuiconcert/>

II. FAXまたは電話でのお申込み

FAX **042-481-2510** (このチラシの裏面をご利用下さい) TEL **090-8495-4582** (「如水コンサート企画」事務局)

III. 国立市内販売店 「白十字」南口店 (☎042-572-0416)

◆各回とも限定90席につき、お早目のお申込みをお奨めいたします。



如水コンサート企画

検索

# FAX 申込書 → 042-481-2510 一橋大学佐野書院 渡邊順生／古楽の愉しみ (2019)

お名前		TEL		FAX	
ご住所	〒				
E-mail					
お申込み内容	1 回券 (各3,000円)		2 回セット券 (5,000円)		
	<input type="checkbox"/> 4月 7日 (日) _____ 枚 <input type="checkbox"/> 12月15日 (日) _____ 枚 <input checked="" type="checkbox"/> をお願いします。		_____ セット		

\*如水会員の方は、お名前の後ろに「(会員)」とご記入下さい。

## ■ 渡邊順生さんの横顔

ビジネスの世界で活躍している卒業生の多い一橋大学だが、内外のステージで活躍する二人の異色の音楽家がいる。一人はコントラバス奏者の河原泰則さん(1973年商学部卒、'77年ベルリン芸術大学首席卒、ジュネーヴ国際音楽コンクール最高位入賞、1980～2011年ケルン放送交響楽団首席コントラバス奏者、ミュンヘン国際音楽コンクール審査委員長)。

もう一人が渡邊順生さん(1973年社会学部卒)。幼少からピアノを学んでいたが、銀行マンの父上から「音楽は男子一生の仕事にあらず」と諭されて已むなく一橋に入ったとのこと。折しも、全国的な大学紛争で授業は殆どなく、チェンバロに没頭。卒業後直ちにアムステルダム音楽院に留学し、巨匠レオンハルトに師事。首席卒業のうえ「プリ・デクセランス」という、オランダの教育課程で数年に一度しか授与されないとてつもない賞を受賞している。

1980年に帰国以来、古楽器演奏の啓蒙と普及に努め、精力的に活躍。2005年に始まった「くにたち兼松講堂 音楽の森コンサート」(＝「兼松講堂如水コンサート」)にも指揮者・古楽器奏者として度々ご出演をお願いし今日に至っている。

とりわけ、『バッハ／ヨハネ受難曲』(2010.5)、『モンテヴェルディ／ポッペアの戴冠』(2011.11)、『モンテヴェルディ／聖母マリアの夕べの祈り』(2014.10)、『ヘンデル／メサイア』(2015.11)の大規模声楽曲は、聴衆に忘れ難い深い感動を与えた。

ボランティアチーム 如水コンサート企画

## 渡邊順生 Yoshio Watanabe (チェンバロ)



チェンバロ、クラヴィコード、フォルテピアノ奏者、指揮者として活躍。論文執筆や楽譜校訂も手がける。2010年度サントリー音楽賞受賞。アムステルダム音楽院にてソリスト・ディプロマ及びプリ・デクセランスを取得。グスタフ・レオンハルトらにチェンバロを師事。ブリュッヘン、ビルスマ、エルウィス、エグモント等、欧米の名手・名歌手たちと多数共演。ソニー、創美企画、コジマ録音、セシル・レコードより多数のCDをリリース。

『モーツァルト：フォルテピアノ・デュオ』[共演：崎川晶子] (コジマ録音、2006) 及び『フレスコバルディ／フローベルガー：チェンバロ作品集』(コジマ録音、2016) でレコード・アカデミー賞受賞。著書『チェンバロ・フォルテピアノ』(東京書籍、第3刷2009) で好評を博す。『バッハ・古楽・チェロ～アンナー・ビルスマは語る～』(アルテス・パブリッシング、2016) もまた新聞・雑誌等で絶賛されている。上野学園大学客員教授、東京音楽大学、桐朋学園大学講師。

## 渡邊有希子 Yukiko Watanabe (ソプラノ)



岐阜県出身。加納高等学校音楽科卒業。国立音楽大学声楽科卒業。卒業時に武岡賞受賞。東京芸術大学大学院修士課程独唱科修了。これまでに曾我榮子、佐竹由美、故朝倉蒼生、佐々木典子、故森晶彦の各氏に師事。ジョン・エルウィス、エマ・カークビー、ルーファス・ミュラー、ロベルタ・マメリ等海外の名歌手のマスタークラスも受講。

宮内庁桃華楽堂での御前演奏会、読売新人演奏会を始めとし、各種の演奏会に出演。モンテヴェルディ、バッハ、モーツァルト、シューベルト等

の宗教曲におけるソリストや、モーツァルト・アカデミー・トウキョウ等の少人数アンサンブルにも参加。バロックから初期ロマン派までを得意レパートリーとする。第23回友愛ドイツ歌曲コンクール第2位。第1回岐阜国際音楽祭コンクール声楽一般の部第3位。第26回国際古楽コンクール(山梨)第3位(1位無し)。弘明寺音楽院声楽講師。

